

4. 主要材料

品名	数量	単價(圓)	製造工作販賣納入者	備考
鋼矢板	約 72 ton	190.00	(獨逸)クロックナー製鋼會社 龍多商店納	I 號型長 7 m II 號型 8 "
タイロット	約 666 本	50.00	大阪市管兄弟鐵工所	I 號型 9 " II 號型 12 "

5. 工事執行者 静岡縣

6. 計畫設計者 静岡縣土木部

7. 工事監督者 土木技師 原川 康

8. 施工方法 直營：浚渫埋土及び岸壁上部工

請負：鋼矢板打工，岳南組 勝又春一

9. 起工年月日 昭和 8 年 12 月 16 日

10. 竣工豫定年月日 昭和 11 年 3 月 31 日

下田港修築工事概要

(本文に就ては會員工學士木村憲七郎君の勞を煩はしたり、茲に感謝の意を表す。)

1. 箇所名並に工事種類

静岡縣賀茂郡下田町

(1) 岸壁工事 (2) 棧橋工事 (3) 防波堤工事

(4) 浚渫工事

2. 計畫概要及び工事狀況

昭和 8 年度工事 (實施中)

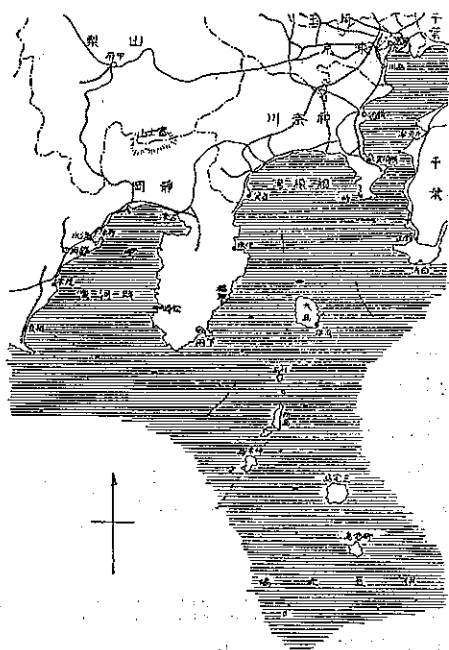
(1) 荷揚岸壁 平滑川合流點より上流へ延長 175 m, 幅 10 m の埋立をなし, クロックナー式鋼矢板 (II 型長 8.5 m) 使用, 前面水深 -3.0 m の漁船中小帆船用荷揚岸壁を築設す, 物揚場は幅 6 m の 1/60 勾配斜面龜石張を施し, 30 m 間隔に繫船柱を設置す。

尚ほ物揚場沿ひに幅 5.5 m の臨港道路築造の豫定, 本工事中鋼矢板工事は請負とし, 他は總て直營施行とせり。

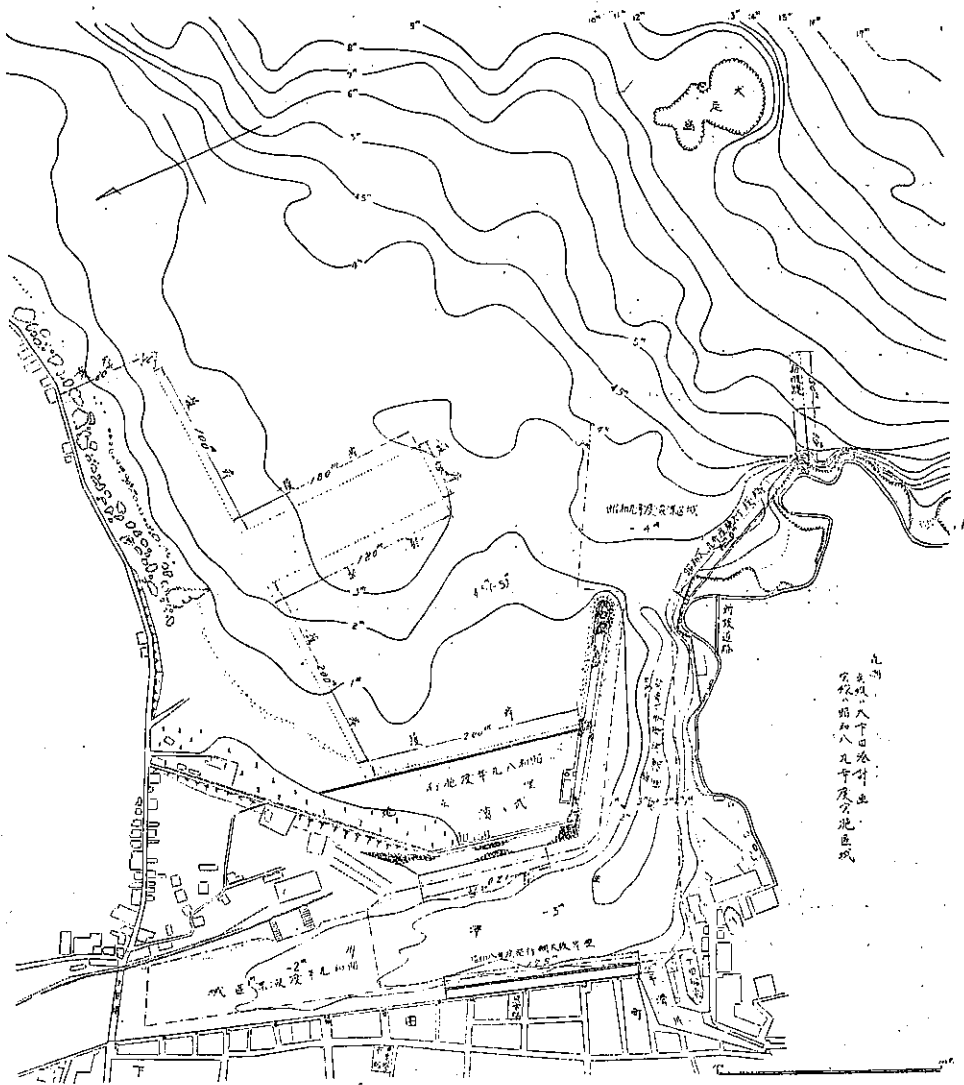
(2) 棧橋 河口外鶴島地先棧橋延長 120 m 中本年度に於て 30 m 施工, 1 徑間長 4.5 m, 幅 7 m, 水深 -4.0 m を有する鐵筋コンクリート造にして 3 徑間毎に伸縮裝置, 30 m 間隔に繫船柱を設け主として客船用に供す。棧橋背後に浚渫土を以て約 5000 m² の埋立地を作り, 各種陸上設備區域に充て市街地への連絡用として幅 6 m, 延長 450 m (隧道) の道路を築造す。

(3) 防波堤 鶴島地先より犬走島に向ひ延長 50 m の防波堤の中 20 m を施工せり。

第一圖 下田港附近一覽圖



第二圖 下田港平面圖



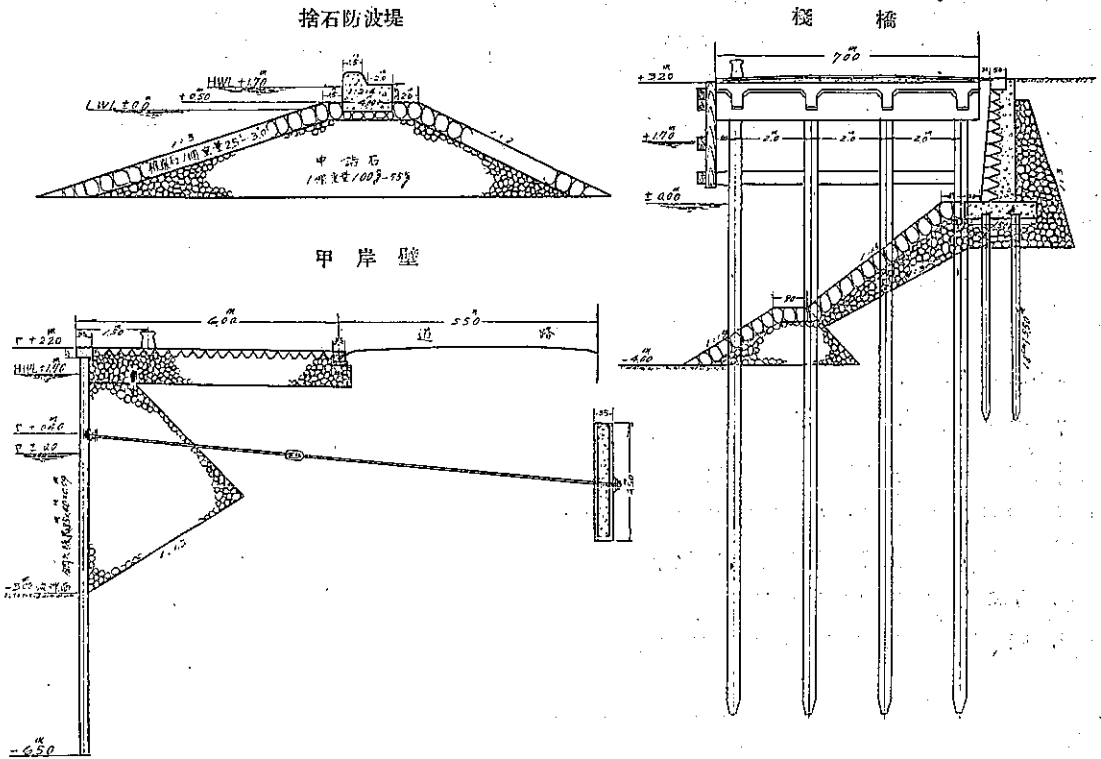
構造は下部捨石、上部コンクリートの混成堤にして、捨石堤天端 +0.5 m, 外法 3:1, 内法 2:1, 中詰石 1箇重量 75~100 kg, 被覆石 1個重量 5 ton, コンクリート堤下端 -0.1 m, 天端 +3.0 m, 配合 1:2:4 とせり。
(第三圖参照)。

(4) 浚渫 荷揚岸壁前面より下流河口に至る間を -3.0 m に浚渫し、この土量 16800 m³ 中一部岸壁裏埋に流用し他は武ヶ濱地先に埋立に使用する。

昭和9年度工事

- (1) 棧橋 8年度に引き継ぎ実施本年度に於て完成の豫定。
- (2) 防波堤 同上

第三圖 構 造 圖



(3) 浚 漕 荷揚岸壁前8年度浚漕終端より上流下田橋間を -2 m, 棧橋前面河口より -4 m 等深線に至る間を -4 m に浚漕, この土量約 46800 m³ なり。

3. 工 事 費

昭和8年度	115 300 圓
昭和9年度	111 500 "
計	226 800 "

4. 主要材料

品 名	数 量	単 價	製造工作販賣納入者	備 考
鋼 矢 板	197.4 ton	180.00 ^円	大阪範多商店	長 8.50 m クロックナー II 號型
鋼 型 材	14.0 "	125.00		
セメント	2 242.2 樽	4.70	淺野セメント	
鐵 筋	73.9 ton	125.00		
扣 鉚	117.0 組	60.00	大阪菅兄弟鐵工所	徑 50 mm 長 11.0 m
花 崗 石	23.3 m ³	36.00	山梨縣山林課	
捨 石	7 880.0 "	4.60	地 方 産	75~100 ton 3~5 ton

5. 主要機械器具

品名	性能	数量	備考
捲揚機	10 ton 捲揚 石油發動機 15HP	1	岸壁裏埋立浚渫土砂捲揚 及び防波堤捨石吊込操作用
同	5 ton 捲揚 電動機直流 15HP	1	浚渫土捨場備付
同	10 ton 捲揚 電動機 15HP	1	鋼矢板打込及び吊込操作用
同	5 ton 捲揚 電動機 10HP	1	同
矢板打杉樁		2	軌條取付足場打用
ポンプ		2	水替用 6' 1 臺, 5' 1 臺
浚渫船		1	
臺船		3	
運搬船		5	浚渫土砂及び材料運搬用

6. 工事執行者 静岡県

7. 計畫設計者 静岡県土木部

8. 工事監督者 土木技手 鶴岡義郎

9. 施行方法 請負：岸壁鋼矢板打込及び扣版工事 勝呂組
直営：他は總て直営施行

10. 起工年月日 昭和 8 年 9 月 1 日

11. 竣功豫定年月日 昭和 10 年 11 月 31 日

釜石港修築工事概要

(本文に就ては上野節夫君の勞を煩はしたり、茲に感謝の意を表す。)

1. 箇所名並に工事種類

箇所：岩手縣上閉伊郡釜石町釜石港

工事種類：釜石港修築工事

(1) 防波堤：基礎捨石上鐵筋コンクリート造函塊設置

(2) 繫船岸壁：水深 $\begin{cases} 3.64 \text{ m} \\ 2.7 \text{ } \\ 1.8 \text{ } \end{cases}$

(3) 護岸工： $\begin{cases} \text{甲. 防波壁附} \\ \text{乙. 導流塊式} \end{cases}$

(4) 雑工事

(5) 機械設備

(6) 雑費

2. 計畫概要

港東方に當る海中に延長 268 m の基礎捨石上鐵筋コンクリート造函塊設置の防波堤を築造し、港内船溜面積を 112 000 m² として港口位置を東北に採りその幅員を 110 m とす。